

美ら島レスキュー 2022 報告

沖縄県医師会災害医療委員会委員長
 沖縄県災害医療コーディネーター 出口 宝



県災害対策本部（南部合同庁舎）

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響で、2019年を最後に中止されていた大規模災害図上訓練「美ら島レスキュー」が3年振りに開催されました。本来ならば2022年9月27日、28日の予定でしたが、第7波の影響で延期となったため2023年1月12日、13日の開催となりました。本来、県災害対策本部は県庁4階講堂に設置されますが、現在は県コロナ本部総括情報部が設置されているため、南部合同庁舎に災害対策本部を設置しました。現状で実際に災害が発生した場合も、県災害対策本部は南部合同庁舎に設置されることになっています。

今回は地方本部と地域医療調整本部や関係機関、特に指定地方行政機関、指定地方公共機関等はホーム・ステーション・プレイとして各々の会館等で災害医対策本部を設置しての参加となりました（Fig.1,2）。それに倣い、沖縄県医

師会（以下、本会）も医師会館に災害対策本部を設置して、田名副会長と事務局3名がプレイヤーとして参加しました。また、事務局1名が医師会リエゾンとして県災害対策本部の下に設置された保健医療調整本部のプレイヤーに参加しました。小職は南部合同庁舎の訓練統裁部にて医療の訓練コントローラーを担当しました。今回は、訓練規模を縮小しての開催となり、約580人が参加しました。

2. 訓練想定

本県で起こると想定されている地震津波災害のなかで、最も甚大な被害となる沖縄本島南東沖3連動地震に伴う被害想定により訓練が行われました。本島南東沖約100kmから先島諸島東約100kmに及ぶ範囲の3箇所において深さ2kmでM9.0の地震が発生、本島で震度6、10m超による津波が発生し、発生後約30分後に南城市に到達したとの想定でした。

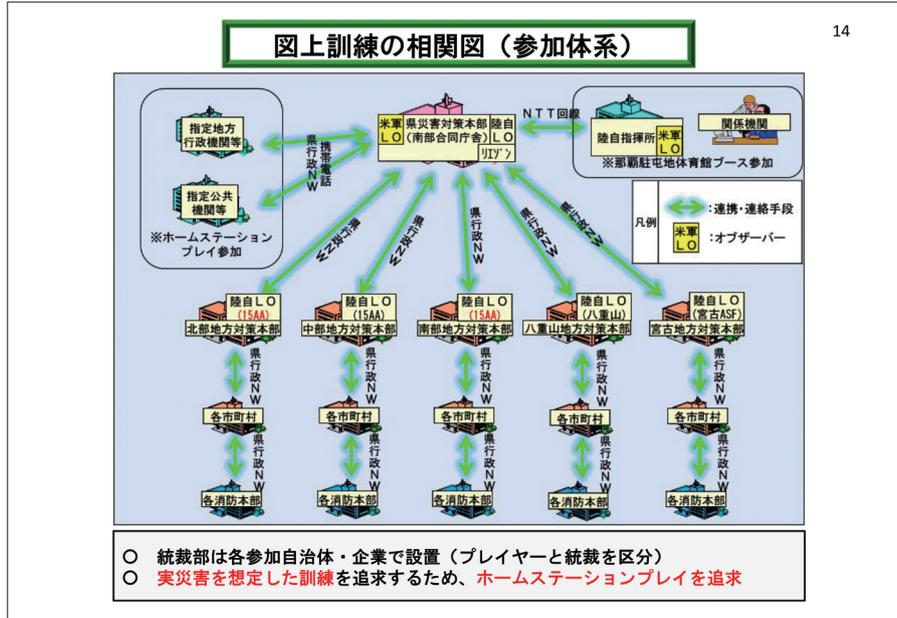


Fig.1 訓練相関図。図中には全ての地方対策本部や保健医療調整本部（保健所）が記載されているが、一部は不参加となった。

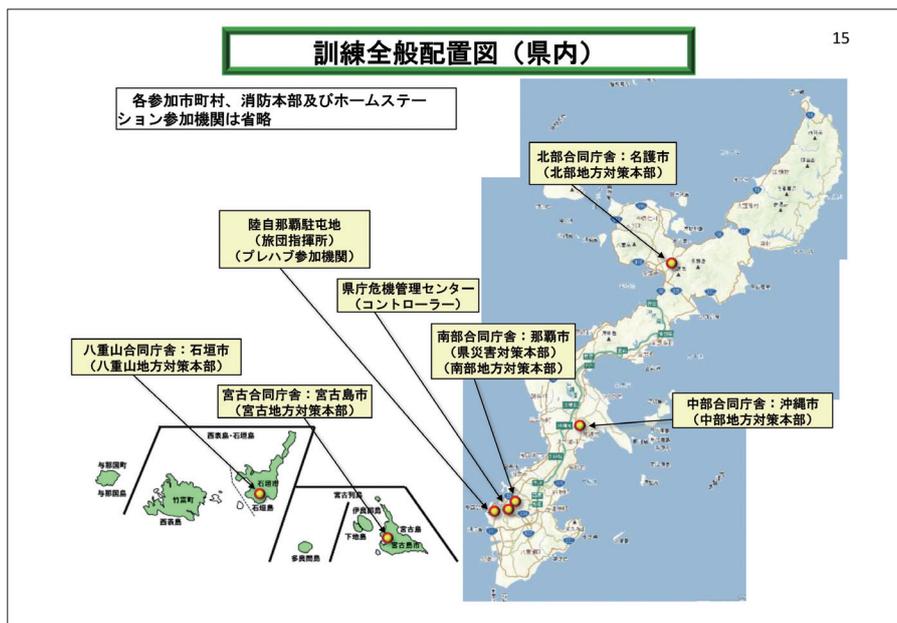


Fig.2 各訓練会場（Fig.1 同様一部は不参加）。

3. 訓練

美ら島レスキューは通常は2日間行いますが、今回は1日間となり時程も短縮されて発災後4時間までの初動対応が行われました。状況付与は医療に関しては南部合同庁舎訓練統裁部から、他は県庁5階訓練統裁部のコントローラーから電話を用いて行われました。地震の発生とともにプレイヤーはシェイクダウン、揺れが収まったとともに訓練開始となりました。医療のコントローラーはMSEL（Master

Scenario Event List：訓練シナリオ）に基づいて県保健医療調整本部、地域医療調整本部、関係機関の各々へ状況付与を開始しました（Fig.3）。県内の病院は事前に配布された被害想定に基づいて自院からEMIS（Emergency Medical Information System：広域災害救急医療情報システム）入力を行いました。そして、各本部では架電を受けて、付与された状況をクロノロジーに記載し、To-Doリスト、連絡



Fig.3 南部合同庁舎訓練統裁部（医療）



Fig.4 県保健医療調整本部



Fig.5 沖縄県医師会災害対策本部
(ホームステーションプレイ・県医師会館)

調整の確認などの対応に取り組んでいました (Fig.4)。本会は医師会館2階に沖縄県医師会災害対策本部を設置して、沖縄県医師会災害医療計画に基づいた災害発生時の初動を行い、付与された状況に対して九州医師会連合会災害時医療救護協定・運用マニュアルに基づき、被災県として幹事医師会との連絡や日本医師会との連絡調整を行いました (Fig.5)。また、県の協力が必要な場合には県保健医療調整本部に派遣した医師会リエゾンと連絡を取り、県保健医療調整本部へ情報や要請を上げていました。このように、訓練では状況付与に対応することで、実災害時に必要な活動を確認していきました。

4. 所 感

今回はコロナによる3年間のブランクの影響が大きく出てしまいました。これは、準備段階からも感じられました。この3年間に県庁、自衛隊ともに担当者が殆ど入れ替わっていました。官公庁の人事異動はやむをえないことと思いますが、少なからずともこの影響はあったことは否めないと思われます。そして、これらに加えてコロナ対応にて保健所が多忙であったこともあり、必要な訓練が出来ませんでした。その一つめは、全ての地域医療保健医療調整本部（本部長は保健所所長）が立たなかったことが挙げられます。二つめに、参加決定が開催ぎ



Fig.6 医療訓練コントローラー

りぎりになった地域医療保健医療調整本部があり、それが原因なのか地域医療コーディネーターと各地区医師会への訓練参加案内がされませんでした。実災害では重要な立場となる各地域医療コーディネーターと地区医師会が不在の訓練となってしまいました。

次に訓練全体では前回よりも対応レベルが後退していた感があります。一方、医療部門においては、プレイヤーはDMAT訓練や県防災訓練、そして過去の本訓練を経験しており、ランクによる影響はさほど感じることはありませんでした。細部では、事案ごとのカウンターパートナーを平時からわかるようにしておくのも必要と思われました。

訓練の設定については、発災から4時間後までとなっていましたが、実災害時には発災後4時間では各機関とも本部の設置さえもできていないのではないのでしょうか。訓練は本部が設置されたことを前提に行われているので、発災〇〇時間後から24時間位がMSELの内容と整合が取れるように思われました。

多くの課題が見えた訓練となりました。人事異動があるのは当然であり、それだからこそ訓練は毎年繰り返し実施する必要があることを改めて強く感じました。また、災害医療の前線は地域医療本部です。次回からは、地域医療コーディネーター並びに各地区医師会から地域保健医療調整本部への参加をよろしくお願い致します。

